

ニューヨーク大会ご報告

日本警察消防スポーツ連盟

警察部長兼滋賀県支部長 片桐 清司

大会の概要

今年の世界警察消防競技大会は米国ニューヨーク市において、世界70カ国から1万人余が参加し開催。夏季オリンピックに次ぐビック大会として2年ごとに開催されているこの大会は、日頃は各地で開催されるスポーツ大会の警備や後方治安の仕事に就く警察官・消防士等公安職員が夏休みを利用して競技するものです。

日本からの参加は50数名で、ベンチプレスやテニスの参加者が多く、全員が自主参加ですが日本警察消防スポーツ連盟という組織に加入し、連盟の身分証明書を持参することにより参加が許されます。私は今年からこの連盟の警察部長兼副理事長という肩書きを頂戴し参加しました。

参加する競技は夏季オリンピックと同じ種目に警察犬や白バイレース、消防の消火競技や階段駆け上りのステアレース等が加わって65種目となり、ユニバシールド以上の大会開催地でないと催すことはできません。出場する種目は体力と日程の許す限り何種目でもエントリー可能です。ちなみに友人の警視庁OBは毎回、水泳と陸上競技とにエントリーし、メダルも持ち帰っています。

競技結果

私は先ず、警察のお家芸と言われる柔道で参加し、グランドマスター(60歳以上)の部73kg級で出場、ロシア国モスクワ警察の柔道指導者と対戦し2勝。本家日本の面目を保つことが出来ました。なお、柔道競技参加者は約200名で、日本人は私と40歳代90kg級の福岡県警特練OBとの二人だけで寂しい思いをしました。彼は一番層の厚い階級の中で4試合を戦い抜き見事な優勝を飾ってくれました。決勝戦で得意の内股で一本勝ちを決めてくれたときは、サイドコーチとして選手と共にうれし涙を抑えることが出来ませんでした。彼の相手は一回戦からロシア、アメリカ、ロシア、ベルギーで、後でロシアの監督から聞いた話ではロシア人選手は世界選手権とオリンピックの元代表選手だったと言うことで、その話を先に聞かなくて良かったと胸をなで下ろした次第。私の相手はその彼らを育てた指導者でロシアの国技サンボ出身とのことで試合後は親しくなって私にブーチン首相と一緒に写っている写真などを見せてくれ国の状況等を身振り手振りで説明してくれました。

さて、試合の終わったのが午前2時半で、その後のメダル授与式もそこそこにタクシーでホテルに引き上げました。私の場合、その日の午前8時から2種目の腕相撲競技が控えており少しでも休養し、栄養補給もしておきたかった

からです。しかしながら、その5時間後に開催された腕相撲競技ではコンディションが整わず、対戦待ちの時不覚にも居眠ってしまうほどでした。

腕相撲は4人のリーグ戦で、1回戦米国ミネソタ州の54歳の警察官に指滑りで取り直しの末惜敗し、この大会初黒星を喫してしまいました。次のロシア人53歳警察官とチェコの56歳消防士には勝利し何とか銀メダルを頂きました。金メダルを逃して悔しい気持ちでしたが、この種目は60歳代のエントリーが私だけで、10歳下に負けたのなら仕方ないかと自分を納得させた次第です。

このような強行日程になったのは、開会式の翌日にニューヨークを通過した190年ぶりといわれる大型のハリケーン(台風)で二日間大会が中断したためでした。実は柔道には愛知県警から32歳の若手警察官がエントリーしていましたが、彼は競技の延期で出場をあきらめやむなく帰国しています。私はその選手とホテルが同じであったため、延期になった二日間を利用しエレベータ前のじゅうたんの畳で打ち込み練習をやり、お陰で柔道の技の研究もできました。

初日のステアレース等も中止となり、がっかりして帰国して行った仲間の分も頑張らねばならないと皆で励まし合いました。

ニューヨーク観光

競技の終わった日に、日本で約束していたニューヨークで働く隣の娘さんと会食しました。私のメダル獲得をわがことのように喜んでくれて、名の通ったイタリア料理店に連れて行ってくれました。そこではこちらの希望通りの注文をしてもらい、初めてステーキとワインを味わいました。ニューヨーカーとして誇り高いこの娘さんにはニューヨーク諸事情及び日本との違いなどを解説してもらい大いに参考になりました。ちなみに彼女はアメリカの一流大学を卒業して、ニューヨークの一流企業に勤めるキャリアウーマンでした。

次の日一日だけがフリータイムとなり、台風一過のニューヨーク一日観光を楽しみ、南部ダウントウンからリバティー島に上陸して自由の女神、国連本部やウォール街そして、グラウンドゼロと呼ばれる9.11テロの現場にも立ち寄り、黙祷を捧げました。今回の大会もこの9.11の10周年を記念して開催されており、その後の大国アメリカの復興ぶりを目の当たりにしてきました。

願わくば、日本の3.11東日本大震災も十年後にはこれ以上に復興・復活、かつ再生してほしいものだと思わずには居られませんでした。

三つの感謝

大会を振り返ってまず感謝したいのは、我が道場の子ども達です。

北桐館びわ道場20名の小・中学生達は私の練習相手であり、トレーナーでもあります。彼らを指導し育てるためには柔道に関する月刊誌やDVDで常に研究を怠ってはなりません。これが私自身のトレーニングにも成っております。

そして、毎水曜日には最初に少年指導を始めた自町の高月道場において後輩

の中学生などとの稽古です。ここでは午後8時半からの約1時間たっぷり汗を流すことができます。

次に、毎金曜日には、地元の名門伊香高校柔道部の夜間練習に参加し教え子でもある高校生達のパワーとスピードに挑戦します。ここではインターハイに出場するような選手は高齢である私には手加減をして相手してくれているなど、これら全てに感謝しなければなりません。

次に感謝すべきは勤務先である滋賀近交運輸倉庫の山田会長であります。

平成16年、採用していただいたときの条件に、柔道による子どもの健全育成をライフワークとしたいとする私の希望に快くご理解をいただき、今日まで週3日の勤務を許していただいております。このことは、山田会長ご自身が武道家でなごなたの師範である母上のご薫陶を受けておられるからと拝察しております。

三つ目は、家内の助力であります。年に3・4回ある私の柔道大会出場に「お父さんはいつも好きなことばかりして・・・」と言いながら手綱を引き締めつつ、食事の管理には特に気を配ってくれています。減量しつつスタミナも必要という矛盾した料理など誰もよろこんで出来るものではありません。いつも謝りながら、こころから感謝している次第です。

今後の目標

世は正に高齢社会に突入しております。日本は世界トップの長寿国といわれていますが、これからの社会に高齢者の果たすべき役割は大きく、ただ長生きしているのではなくその人なりの持てる力で社会にお返しをしてゆかなくてはならないと考えます。そのためになによりも必要なのは、気力・体力の充実ではなからうかと思えます。体や頭を使って毎日を充実させることは生きがいと健康につながり、併せて医療費等の軽減にもつながることと確信します。

今回の旅で、世界の仲間がスポーツに取り組む真剣な姿勢とニューヨーカーと言われる人たちのスポーツ好きと健康志向の態度は見習わねばならないと思いました。ちなみに私が8日間滞在したホテルのすぐ近くにある巨大公園セントラルパークには、早朝からジョガーやサイクリングやテニスを楽しむ人たちが一杯でした。また、レストランでは寿司店が非常に多く、日本食、健康食ブームです。体力も栄養も自己管理しているニューヨーカー達の真剣な生き様に世界をリードする力強いアメリカの一部を垣間見たようでした。

世界200カ国以上で親しまれている日本の柔道です。また、日本食ブームもアメリカだけではなく世界に広まっていると伺っています。スポーツ・健康の分野ではアジアの一角に君臨するわが日本が世界をリードしていかねばならないと感じました。

もうひとつ感じたのは、彼らの人間力です。数年前に戦った異国の友人が「二

ッポンノ片桐ハイルカ。」と探して訪ねてくれます。また、どこで出会っても挨拶は先手を取られ、握手と抱擁です。私も会社や道場では「先手の挨拶」を口うるさく言っているつもりでしたが、外人スポーツマンにははっきり負けていました。

ここらあたりも日本人の改めるべき国民性ではないかと感じた次第です。

本日はどうも有り難うございました。

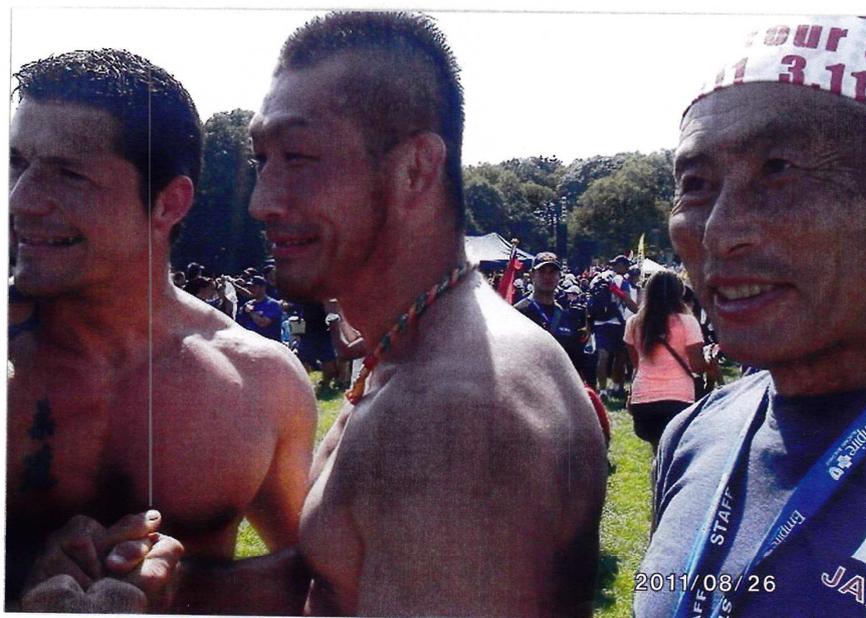
平成23年9月22日

滋賀近交運輸倉庫株式会社
顧問 片桐 清 司

2011年
 ニューヨーク大会の状況



開会式場における日本選手団



米国 対 友

日本福野善徳と友
 米29-天巻我を強か
 叫び叫び中20!

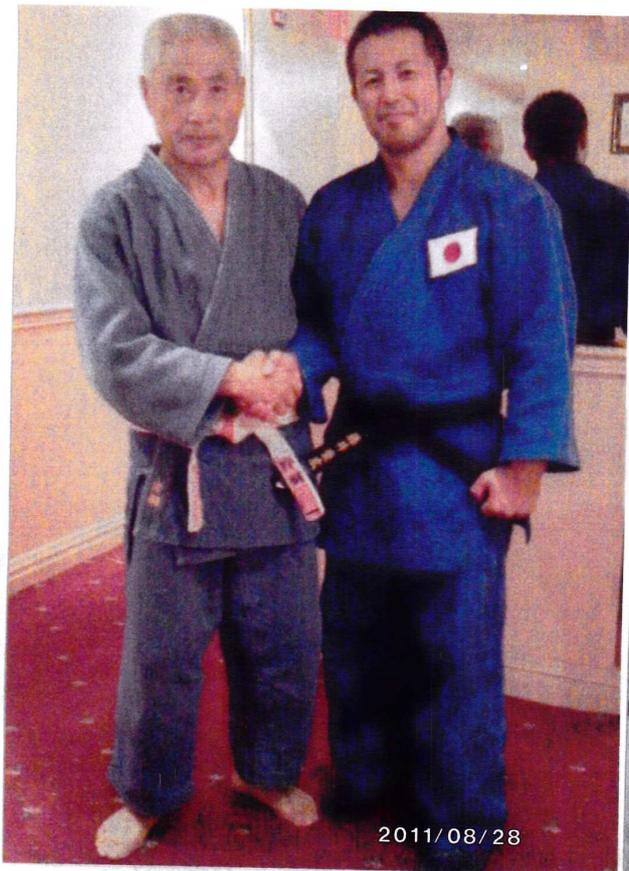
片桐七段



↑スプラズ勝一
世界。仲間達



特別顧問 有森祐子さん



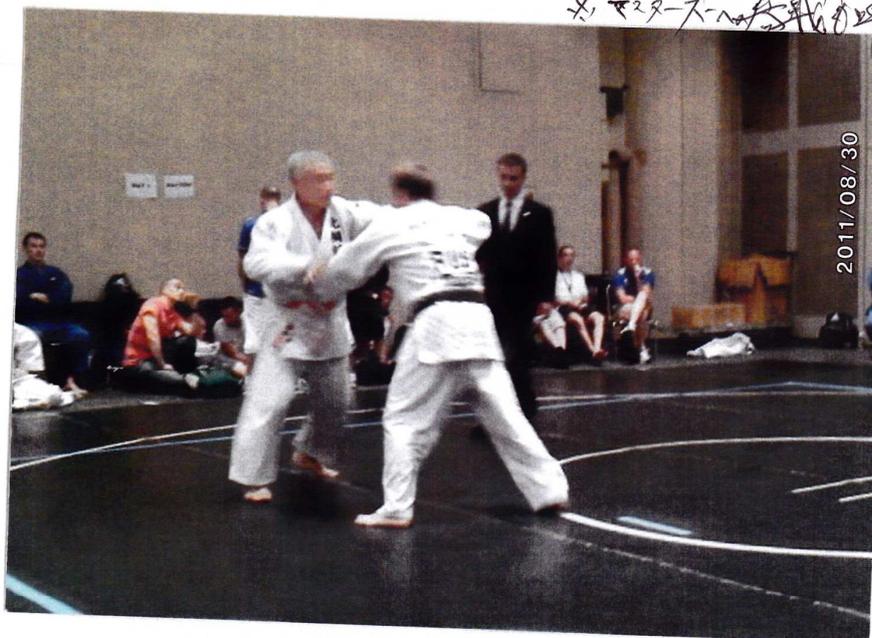
2011/08/28

藤井五段
 (ホテルのエレベーターホールでの打ち稽留後)



2011/08/28

泣いてホテルに去る藤井五段
 (ハッケの修斗道競技が2日延期となり
 仕方のない帰国)
 ※マスタースへの修斗の年がけておられた!



2011/08/30

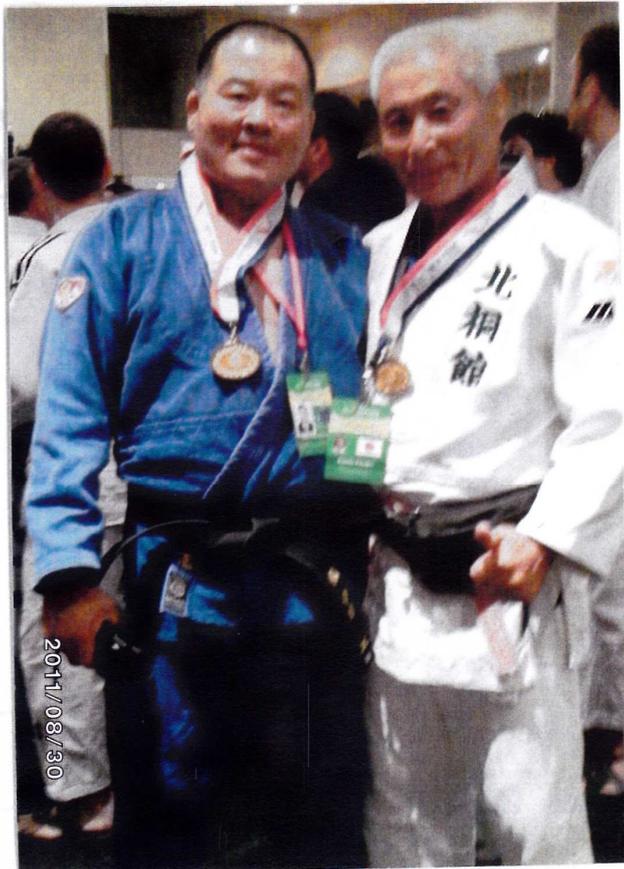
アジア・マスタース修斗師範士の対戦 (初試合前)
 ※結果: 2戦全勝!!



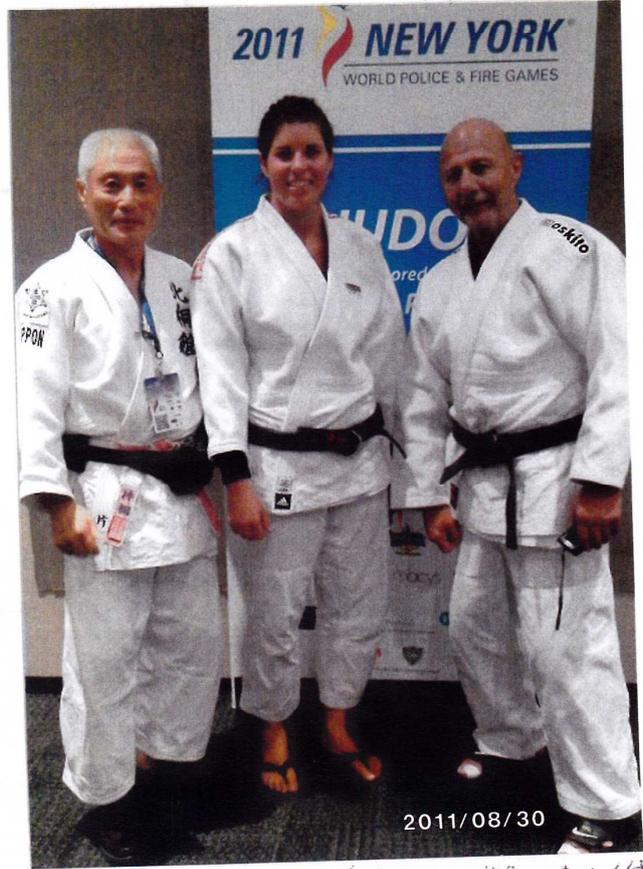
戦い終えて仲良く



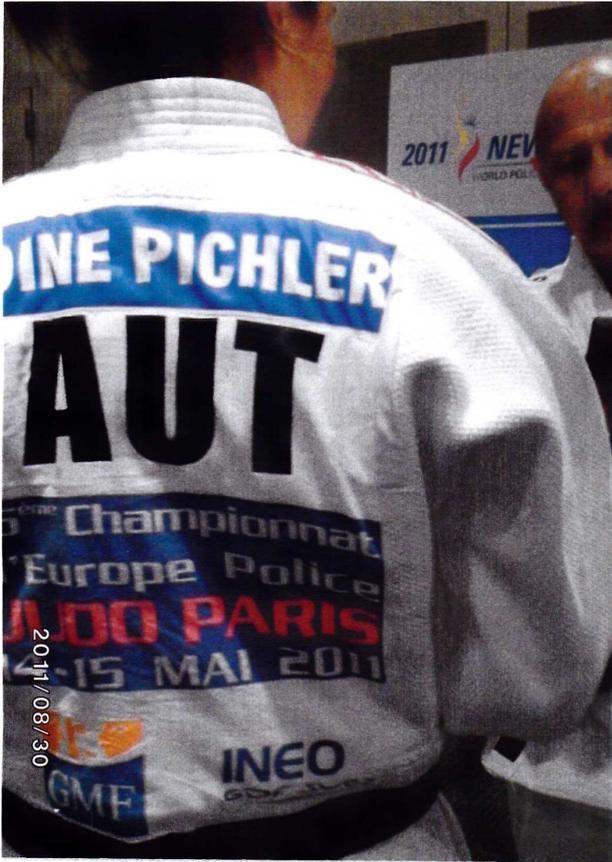
口印の監督と非常気合の礼！



台湾警察学校柔道教授の長氏

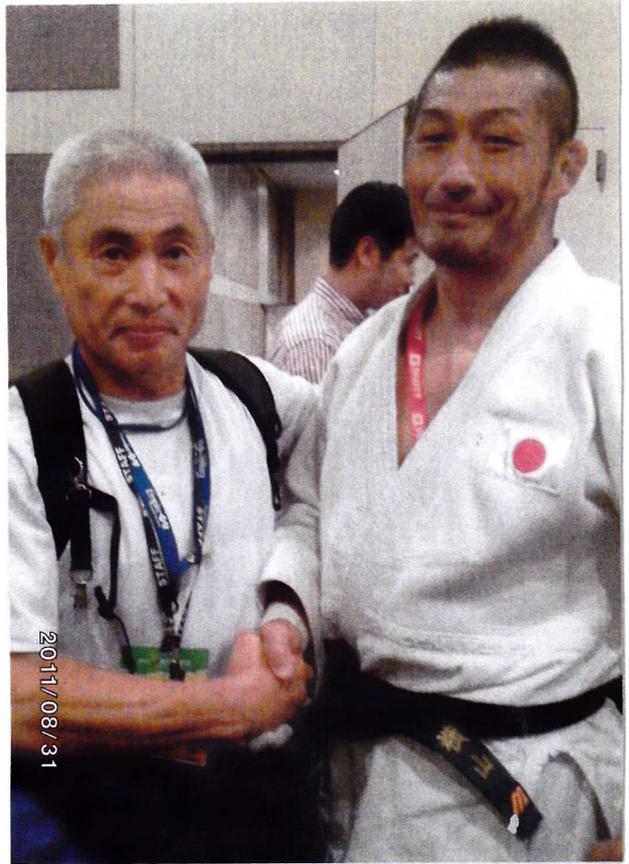


オーストラリア女子選手(銅)との記念(全)66枚



2011/08/30

前方対ラ卯世界選抜代表のセリケ



2011/08/31

横山六段の決勝戦の直後(予2時)



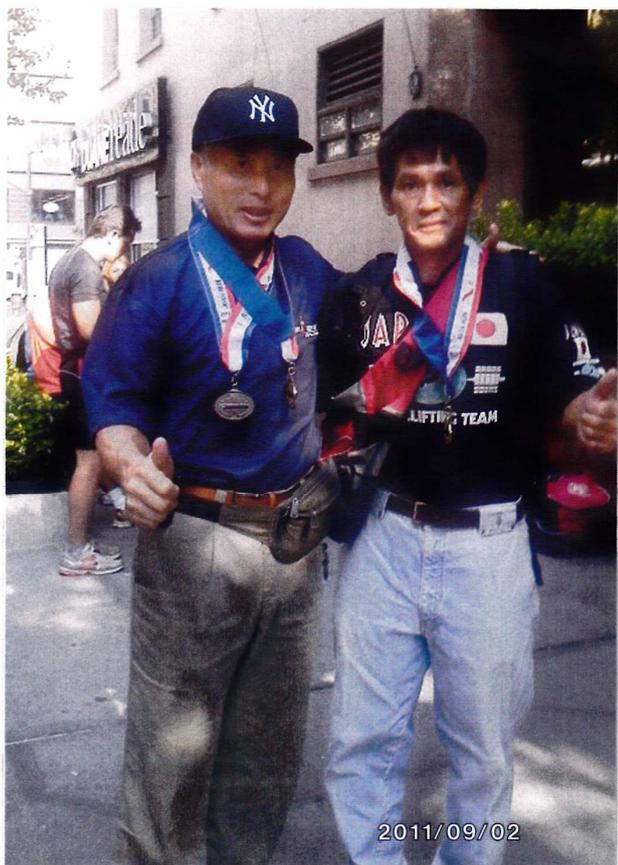
2011/08/31

腕相撲大会にて台湾婦喜以のセリケ



2011/08/31

腕相撲の好敵手エースのセリケ



2011/09/02

ホリノ出発前、同室の鹿島県大島清防
天島総務会と
(ハナリスの会)



2011/08/30

早朝のセトノパーク 外周道路



2014/08/07

北桐館道場のマツリ子達 将来の夢はアリゴク!



メダルを手に片桐さん

柔道で金、腕相撲で銀 片桐さん、世界警察消防競技で

山階町、滋賀近交運輸倉庫顧問の片桐清司さん(64)は、高月町西阿閉は、米国ニューヨークで開かれた世界警察消防競技大会、柔道の部で優勝。腕相撲の部で準優勝した。

大会は2年ごと開催され、世界約70カ国から現役の警察官、消防士、税関職員とOBが参加し、陸上、野球、サッカーなどのスポーツで競う。

片桐さんは高校卒業後、警官となり、虎姫、長浜署や警察学校などに35年間、勤務。現在、柔道教室「北桐館」の代表で柔道7段。柔道はグランドマス

ター(60歳以上)の部、73歳級に出场し、格闘技のサンボ出身で、オリンピックや世界大会に出场したロシアの選手2人を破り、金メダル。腕相撲は出場したのが50歳以下の選手ばかり。決勝まで進んだが、アメリカの強豪に敗れた。片桐さんは49歳から同大会に出场しており、通算、金7個、銀2個を獲得。「世界の仲間とスポーツで草の根交流ができて良かった。皆、「フクシマ、大丈夫か」と声をかけてくれ、ありがたかった」と感慨深げだった。

小谷城址保勝会ら表彰

4日、生涯学習のつどい

「生涯学習推進のつどい」が4日午前10時から湖北文化ホールで開かれる。スポーツや文化の振興に貢献した生涯学習者、市民団体の表彰や、長浜学で所定単位を習得

した市民学芸員の認定式。ステージでは太極拳、剣舞、ファッションショー、長浜北保育園児の太鼓演奏などがある。このほか、ながはま楽習塾の作品展、土曜学習の模擬店、食べ物コー

ナーなど。表彰、認定者は次の皆さん。

【生涯学習者市民】

▽小谷城址保勝会(木村重治代表、小谷十野町)

▽長年、小谷城址の保護活動を続け、昨年、開催された浅井三姉妹博覧会の成功にも貢献。

▽片桐清司(高月町西阿閉) 昨年、世界警察消防競技大会ニューヨーク

大会、柔道60歳73歳で優勝。柔道を通じて青少年の健全育成に尽力。

▽北澤勝子(加田町) 昭和60年から音頭舞踊を指導。江州音頭の普及やボランティア活動に取り組み、舞踊を通じて文化振興に寄与。

▽清水史子(鳥羽上町) 第35回全日本マスターズスキー選手権アルペ

賞。スキーの指導を通じてスポーツ振興に貢献。

【市民学芸員】

田中良和(口分田町)

中村八重子(祇園町)。

女子60歳代の部3位入

喜びの成果 長浜で報告

県警OB片桐さん 柔道V腕相撲2位 世界警察消防大会 米国ニューヨークで 八月下旬から九月下旬 にかれた世界警察消防 防競技大会の六十歳以 上柔道七十三歳級で優 勝し、五十歳以上腕相 撲では準優勝した県警 OBで日本警察消防ス ポーツ連盟副会長の片 桐清司さん(64)長浜 市高月町が二十一日、長浜市役所で藤井 勇治市長に喜びを語っ た。

大会は一年おきに開 催され、世界七十九国 の警察官や消防士が参 加し、六十五種目あ る。参加人数は一万八 千五百人で、オリンピックに次 ぐ規模。

片桐さんは市内の柔 道場で指導しており、 毎日運動することで骨

年齢三十代、血管年齢 二十代という。「野菜 中心の食事で毎日鍛え ることが大切」と健康 の秘訣を語 った。

藤井市長 と腕相撲す る場面もあ り、現役を 退いても衰 えない力強 さを披露し た。

(塚田真裕)



藤井市長と腕相撲をし、こつを片桐さんに長浜市役所で教える。

滋賀夕刊

発行所 長浜市八幡町245-5 〒526-0031 滋賀夕刊新聞社 発行人 押谷洋司

本社 長浜市八幡町245-5 TEL(0749)62-2719(代) FAX(0749)62-4483 彦根支局 彦根市中条町7-41 TEL(0749)26-1688(代) FAX(0749)26-1616

長浜・彦根・津井・春日・日刊(日曜・祭日休刊) news@shiga.yukan.com



メダルを手に片桐さん

柔道で金、腕相撲で銀 片桐さん、世界警察消防競技で

山陽町、滋賀近交運輸 倉庫顧問の片桐清司さ ん(64)は高月町西阿閉 には米国ニューヨーク で開かれた世界警察消 防競技大会柔道の部で 優勝腕相撲の部で準優 勝した。

大会は2年ごとに開 催され、世界約70国か ら現役の警察官、消防 士、税関職員とOBが参 加し、陸上、野球、サッ カーなどのスポーツで 競う。

片桐さんは高校卒業 後、警官となり、虎姫、長 浜署や警察学校などに 35年間勤務。現在柔道 教室「北桐館」の代表で 柔道7段。

柔道はグラントマス 73kg級以上に出場し、格闘技の

サンボ出身でオリンピ ックや世界大会に出場 したロシアの選手2人 を破り、金メダル。

腕相撲は出場したの が50歳以下の選手ばか り。決勝まで進んだが、 アメリカの強豪に敗れ た。

片桐さんは49歳から 同大会に出場しており、 通算金7個、銀2個を 獲得。「世界の仲間とス ポーツで草の根交流が できて良かった。皆「フ クシマ、大丈夫か」と声 をかけてくれ、ありがた かった」と感慨深げだっ た。